



電動シニアカー

取扱説明書

HG-DWAC01



ご使用になる前に、必ず取扱説明書をお読みください。

このたびはハイガー製電動シニアカーを買い上げ賜わり厚くお礼を申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取扱と保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

注意文の の意味について

使用上の注意事項は、下記マークで表示しています。



誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷を負う可能性がある場合のご注意。



誤った取り扱いをした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合のご注意。



誤った取り扱いをしたとき、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合のご注意、及び物的損害のみの発生が想定される場合のご注意。



に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

本書の内容は、後日変更する場合があります。
本機は国内専用です。

おねがい	2
もくじ	3
安全にお使いいただくために	4
重要ラベルの貼り付け位置	8
各部の名称と取扱い	9
運転操作のしかた	15
快適にお使いいただくために	20
充電の方法	21
メンテナンスのしかた	23
長期間使用しないとき	25
故障と思ったら	26
主要諸元	27
お客様ご相談窓口	28

- ・取扱説明書をよく読んで理解した上で正しくお使いください。
- ・取扱説明書は、いつでも見られる場所に保管してください。
- ・貸与または譲渡する場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- ・使用する前、使用後には点検を行って下さい。

■交通法規及びマナーを守りましょう

⚠ 警告

- ・車両は道路交通法上では歩行者と同じ扱いになります。したがって運転免許は必要ありませんが交通ルールやマナーを守り、周りの歩行者や自転車などにも十分注意して安全な走行を心がけてください。
- ・歩道や歩行者用道路を走行し横断歩道を渡ってください。歩道のない道路では自動車や他の交通機関に十分注意して右側通行してください。
- ・車道では運転しないでください。
- ・道路の中央寄りには絶対に走行しないでください。事故が起こる可能性が高く、大変危険です。
- ・道路標識、信号に従ってください。
- ・道路の斜め横断はしないでください。
- ・踏切の手前では一旦停止し、左右の安全を確認し、タイヤが線路の溝に挟まらないよう走行してください。
- ・万一踏切内で動かなくなった場合は、手押しで安全なところまで移動してください。非常の場合は、踏み切りの非常ボタンを押すなど緊急処置をとってください。

■道路を走行する前に

⚠ 警告

- ・走行不能な場所には行かないでください。(石畳、廊下、階段など)
- ・高い段差を超えないでください。
- ・バック操作でも高い段差や階段を乗り越えないでください。
- ・5cmを超える障害物は避けてください。
- ・薬物の服用、アルコール摂取後の運転はしないでください。
- ・体調の悪いときは運転はしないでください。

●積載重量の制限

- ・車の最大積載量は124.74kgで、使用者最大体重は68.5kgです。
- ・この車両は一人乗車専用です。二名以上乗車の場合、バランスを崩し転倒の恐れがあります。

■走行上の注意



警告

●乗降について

- ・乗降の際はバランスにご注意ください。
- ・鍵は必ず抜いた状態で乗降してください。
- ・車両は駆動モードで乗降してください。
- ・シートが固定されていることを確認してください。
- ・乗降しやすい位置に肘掛を跳ね上げてください。
- ・シートの端に座ると転倒するおそれがあります。
- ・肘掛に体をもたせかける事はやめて下さい。転倒のおそれがあります。また移動のために肘掛を持たないでください。車両の転倒や転落を招くおそれがあります。
- ・全体重を踏み板にかけるようなことはしないでください。損傷や転倒のおそれがあります。

●走行中について

- ・運転するときむやみに立ち上がることはしないでください。操作を誤ったりバランスを崩し転倒するおそれがあります。
- ・乗車したまま物を拾うことは危険です。バランスを崩し転倒するおそれがあります。
- ・運転中、手をタイヤに近づけないでください。
- ・急ブレーキは転倒などのおそれがありますのでご注意ください。
- ・危険な場所を運転しないでください。(雪、氷、草むら、などの場所はスリップの危険があります。)
- ・カーブをまがるときのスピードが速すぎると転倒の恐れがあります。転倒の原因は曲るときのスピード、カーブのきつさなどだけではなく凸凹の地面、段差、急ハンドルなどもあります。もし転倒の危険を感じたら即座にスピードを落として転倒の危険を防いでください。
- ・ハンドルをきるときはスピードを下げて車両の安定を維持してください。スピードが速い場合転倒のおそれがあります。
- ・狭い路地などは縁石からなるべく離れて走行してください。後輪側が内輪差で縁石に接触するおそれがあります。

■走行上の注意



警告

●悪天候時の走行について

- ・悪天候時の走行はなるべく避けてください。運転中に急な雨や雪に見舞われた場合はすぐに避難してください。車両が濡れた場合はよく乾かしてからご使用および充電を行うようにしてください。
- ・雨、雪、塩、霧及び滑りやすい路面では使用しないでください。また車両が濡れた場合はよく乾かしてから使用するようにしてください。
- ・高温または低温に長時間おかないでください。温度変化の影響で外装が劣化するおそれがあります。
- ・極端に暑いまたは寒いときや長時間日光にさらされる走行は避けて下さい。

●坂道について

- ・下り坂では安全のために車両のスピードを低い速度に設定してください。
- ・上り坂または下り坂のとき車両をフリーモードにした状態でそばに立つことは危険です。
- ・上り坂では急ハンドルをきらないでください。転倒のおそれがあります。特に曲がり角では注意してください。
- ・できるだけ下り坂や上り坂などを運転しないでください。必要な場合にだけ走行することを推奨します。

●階段とエスカレーター

- ・車両で階段やエスカレーターなど障害物を超えないでください。

●エレベーター

- ・エレベーター付近が狭くなっている場合、乗降には特に注意してください。
- ・リフトなどの昇降機を使う場合は一度車両から降りて昇降してください。乗車したまま昇降を行うことは危険です。

●屋内での走行

- ・人ごみや屋内では、衝突、接触の危険があります。安全のため、混雑を避け低速で走行してください。

●その他の注意

- ・車両から離れる場合は鍵をぬいてください。不注意な操作の事故を防ぎます。
- ・荷物の牽引はしないでください。

■その他の注意

⚠ 警告

- 電磁波による誤動作を防いでください
 - ・走行中は携帯電話などの無線通信機器を使用しないでください。携帯電話などの無線通信機器を使用するときは安全な場所に停止し、車両の鍵スイッチを切ってから使用してください。
 - ・車両の改造は耐電磁性に影響を与えるおそれがありますので絶対にやめて下さい。
 - ・車両が警報機器などの電子機器に影響を及ぼすおそれがあります。異常を感じたら直ちに車両のキーを抜いて停止状態にしてください。

■バッテリーの取扱上の注意

⚠ 警告

- ・充電中は発生したガスに引火し爆発することがあります。火気を近づけず通気の良い場所で充電してください。
- ・必ず専用充電器で充電してください。自動車等の充電器を使用しないでください。
- ・バッテリー、充電器を分解しないでください。
- ・電池は重量物です。一人で持ち上げることができない場合は無理をせず二人以上で持ち上げてください。
- ・電池は凍らない場所に保管してください。また凍ってしまった場合は充電しないでください。
- ・コンセントと充電器の間に延長ケーブルを使用しないでください。
- ・バッテリーの近くで工具やその他金属を使用する場合接触に注意してください。感電や火災を発生するおそれがあります。

■運ぶときの注意

⚠ 警告

- ・車両は自動車内で動かないようロープなどで固定してください。
- ・積載中は車両に座らないでください。
- ・運送中は車両がきちんと固定されてることを確認してください。

重要ラベルの貼り付け位置



注意

- 取扱説明書をよく読んで理解し、安全運転に心がけてください
- この製品は車いすです。それ以外の用途には使用しないでください
- 気分がすぐれない時、飲酒や薬を服用した時は運転しないでください
- 次のような場所や状況下での走行は、回避するか、介助者に同行してもらってください
交通量の多い道路・道幅の広い横断歩道・踏切・砂利道・狭い道・防止柵の無い
側溝や路肩付近・夜間走行・雨降り・ぬかるみ・雪道・凍結路・濃霧・強風時
- 8cm以上の段差や幅が12cm以上の溝は、乗り越えできません
回避してください
- 10℃以上の急坂走行や5℃以上の斜面での斜め走行は、転倒する恐れがあります。避けてください
- 下り坂を後進で降りると転倒の恐れがあります。前進で降りてください
- フロントポケット(バスケット)に3kg以上の荷物を入れてください
- 重量制限は、人・荷物を含めて100kgです。重量をオーバーしないよう使用してください
- 携帯電話や無線通信機器は、停車し、キースイッチを【止】にしてから使用してください。
- 走行中、電磁波の影響を受けると、ブザーが鳴り停止する場合があります。この場合は、キースイッチを一度「止」にし、再度「走」にすれば走行できます





ハンドル操作部



■ハンドル操作部

●鍵スイッチ

- ・鍵をスイッチに根元までしっかり差込みます。
- ・鍵を時計方向に回してください。
- ・電源ランプが点灯し、走行できる状態になります。
- ・車両から離れるときは、盗難や誤作動を防ぐため必ず鍵を抜くようにしてください。



⚠ 警告

走行中に鍵を停止方向に回すとブレーキがかかり急停止し危険です。絶対にしないでください。



●速度調節つまみ

- ・速度調節つまみで車両の速度を調整します。



車両は安全のため後退速度は前進するスピードより遅くなっています。

■ハンドル操作部

●アクセルレバー

左右のアクセルレバーで、動かすレバーの方向と車両が進む方向が異なりますので、注意してください。

- ・親指で前方向に押すと、車両は、速度調節つまみで設定したスピードで前進します。
- ・ひとさし指で引っ張ると、車両は後進します。

- ・親指で前方向に押すと、車両は、速度調節つまみで設定したスピードで後進します。
- ・ひとさし指で引っ張ると、車両は前進します。



アクセルレバーを離すと、自動で電子ブレーキがかかります。

●クラクション

クラクションボタンで警告音が鳴ります。車両の存在をアピールすることでお客様の安全を守ります。

●前照灯

ヘッドライトが点灯します。

●ハザードランプ(非常点滅表示灯)

左右の方向指示器が点滅します。周りに、危険が存在することを知らせるために使用します。

●方向指示器

「右」のボタンを押すと右の方向指示器が約12回点滅します。
「左」のボタンを押すと左の方向指示器が約12回点滅します。

■ハンドル表示部

●充電ゲージ

鍵をオンに回したとき中央のゲージにおよそのバッテリー残量を表示します。
ゲージが緑の場合は良好な状態にあります。黄色は充電することをお勧めします。赤は直ちに充電する必要があります。



●電源ランプ

鍵スイッチを回し、走行できる状態であれば、電源ランプが青く点灯します。

- 消灯 : 電源がオフになっている(オートオフ機能)、充電器が繋がっている
- 2回点滅 : バッテリー電圧が低すぎる
- 5回点滅 : クラッチレバーが駆動モードに入っていない
- 6回点滅 : アクセルレバーを操作しながら鍵を入れた

電源ランプが消灯、点滅している間は、システムに電源が入りません。
一度鍵を抜き、挿し直して鍵を時計回りに回して下さい。

■クラッチ操作

●クラッチレバー

- ・車両を手動で移動したいときは、クラッチレバーを前側に倒し、フリーモードにして下さい。駆動システムが解除になります。鍵スイッチを左に回して下さい。ブレーキシステムが解除になります。この状態で車を押して下さい。
- ・車を移動したらクラッチレバーを後ろ側に倒し駆動モードにしてください。



⚠ 警告

- ・フリーモードの状態では車両を離れるときは必ず鍵を抜いてください。
- ・フリーモードの状態では乗車しないでください。
- ・坂道では絶対にフリーモードにしないでください。
- ・フリーモードでは車両のそばに立たないようにしてください。乗車することも危険なので絶対にやめて下さい。

⚠ 注意

コントロールパネルに水などかからないようにしてください。かかった場合はよく乾かしてからご使用ください。

■バッテリー

- ・バッテリー上部のハンドルグリップを持って車両から取り外します。
- ・バッテリーには充電口、リセットボタン、ヒューズがついています。



●充電口

専用充電器からの出力コネクタをこの充電口に挿入してください。

●リセットボタン (オーバーロード保護)

- ・バッテリー電圧が低くなったとき、または積み過ぎや急な斜面などで車両に負荷がかかったときはモーター保護のためにオーバーロードブレーカーが動作します。ブレーカーが落ちると、リセットボタンが出てきます。ブレーカーが落ちると車両のすべての電力システムが遮断されます。
- ・ブレーカーが落ちたときは、鍵を抜いて、1~2分ほど放置した後、鍵を挿して時計方向に回し、リセットボタンを押してください。

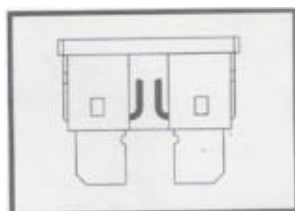


ブレーカーが頻繁に落ちるような場合は充電する必要があります。

●ヒューズ

- ・電気回路保護の為、バッテリーにヒューズが設置されています。電気回路が動かなくなった場合はヒューズを検査してください。

ヒューズが切れている場合



切れている場合は新しい5Aのヒューズに交換してください。

⚠ 警告

ヒューズを交換の際は以前と同じ容量のヒューズをご使用下さい。違う容量のヒューズを使用すると電気システムを壊す恐れがあります。

■後転防止用車輪

後退するときに後方に転倒しないよう後端に転倒防止用の車輪が付いています。

⚠ 警告

後転防止用車輪を取り外す事は絶対にやめて下さい。



■充電器

充電器の電源コンセントを家庭用AC100Vコンセントに差込み、一方の出力コネクタをバッテリーの充電口に差し込んで充電します。

充電器のLEDで充電状況をあらわします。
充電が完了すると緑で点灯します。



■初めて使用するとき

- 1.初めて使用するときにはバッテリーを満充電にしてください。
- 2.まずは家の近くなど良くなれた安全な場所で操作の練習をしてください。
- 3.その後、満充電にします。
- 4.再び運転します。
- 5.再びバッテリーを満充電します。
- 6.四、五回放電と充電を繰り返すとバッテリーは100パーセントの状態になります。

■運転する前に

- ・座席は適当な高さですか？
- ・座席はしっかり固定されましたか？
- ・ハンドルの角度調整は使いやすい位置に固定されましたか？
- ・鍵は完全にスイッチに入って時計回りしてONになっていますか？
- ・車のクラクションは正常に働きますか？
- ・悪路や坂道に遭遇した場合、迂回路などはありますか？
- ・バッテリーは満充電にしましたか？
- ・クラッチレバーは駆動モードになっていますか？(クラッチレバーは手で押す場合のみフリーモードにしてください。)

警告

鍵を抜かずに乗ったり降りたりしないでください。

補足

充電の方法(21ページ)を参照してください。

- ・スイッチから鍵を取り外してください。
- ・クラッチレバーは駆動モード位置にあることを確認してください。
- ・充電器の出力コネクタをバッテリーの充電口に挿入します。
- ・充電器の電源コードを家庭用AC100Vのコンセントに差込みます。
- ・充電状況は、充電器のLEDで表します。緑が点灯すれば完了です。
- ・車両に充電器制限機能があります。充電中は車両の走行は出来ません。
- ・充電ゲージは機能しません。
- ・充電は8時間～14時間で満充電になります。
- ・連続充電時間が24時間を超えないようにしてください。
- ・完了しましたら充電器の電源コードをコンセントから抜きます。次に、充電口から出力コネクタを抜いてください。

■乗ってみましょう

1. 車両のそばに立ってください。
2. 座席の回転ノブを動かして座席をお客様の正面に回転させてください。
3. 座席はしっかりと固定してください。
4. 快適で安全なところに座ってください。
5. 背中が背もたれに付くまで座席に深く座り、肘掛けを下ろしてください。
5. 座席の回転レバーを動かしながら座席を回転し進行方向に向いて下さい。
6. 座席はしっかりと固定してください。
7. 足は踏み板の上においてください。



■下車します

1. 車両を完全に止めてください。
2. 鍵をぬいてください。
3. 座席の回転ノブを動かしながら座席を回転し降車方向を向いてください。
4. 座席をしっかりと固定してください。
5. 注意して降車してください。
6. 座席をそのままにしておくと次回乗りやすい状態になっています。

■車を運転します

操作中は常にハンドルに手を置き、足を踏み板に置いてください。

●前進します

1. ラッチレバーを後ろ側に倒し駆動モードにしてください。
2. 速度調節つまみを調整し速度を決めて下さい。
3. 親指は速度調節つまみの適当な位置においてください。
走行中に、速度調節つまみを調整して車の速度を変えることができます。
4. アクセルレバーを操作すると、車両はゆっくりと発進し速度調節つまみで調節した速度まで加速します。

- ・ハンドルを左に切ると車両は左に向かって進みます。
- ・ハンドルを右に切ると車両は右に向かって進みます。
- ・ハンドルを中心に戻してして前進します。

5. アクセルレバーをゆっくり離すと停止します。電子ブレーキが自動で働き車両は止まります。

●後進します

- ・後進の場合も、アクセルレバーを操作すると車両はゆっくりと発進し速度調節つまみで調節した速度まで加速します。

後進する際は一旦アクセルレバーを離して車両を完全に停止させてから、後進操作を行って下さい。

車両は安全のため後退速度は前進するスピードより遅くなっています。

⚠ 警告

操作中以下の行為は危険です。

- ・ペットを連れての操作。
- ・ハンドルに物を掛けたりする行為。
- ・他の自動車に牽引される、または押される。

これらの行為はコントロールができず転倒したりして怪我する恐れがあります。

■手押し移動

- ・車を手動で移動するときは、クラッチレバーを前側に倒しフリーモードにしてください。
- ・鍵スイッチを左に回して下さい。ブレーキシステムが解除になります。この状態で、移動ができます。
- ・車両を移動したら駆動モードに戻し駆動システムを復帰させてください。



⚠ 警告

- ・フリーモードの状態に乗車しないでください。
- ・坂道では絶対にフリーモードにしないでください。

⚠ 警告

- ・フリーモードの状態では車両を離れるときは必ず鍵を抜いてください。
- ・見通しのよい平地でのみフリーモードにしてください。
- ・鍵が抜かれていることを確認してください。
- ・フリーモードでは車両のそばに立たないようにしてください。乗車することも危険なので絶対にやめて下さい。

■オートオフ機能

車両は省エネオートオフ機能を有しています。これにより無駄なバッテリーの消耗を回避します。もし鍵を抜き忘れても約20分ほどで車両の電源がOFFになるよう自動で制御します。

オートオフになっている場合は以下の操作で起動してください。

1. 鍵を抜いて下さい。
2. あらためて鍵を挿し時計方向に回して起動して下さい。

補足

●最大走行距離・時間

実際の走行では登りや降りがあり悪路やカーブ、向かい風など障害がつき物です。これらの要素は走行距離や走行時間に影響を与えます。出来る限りの最大走行距離・時間を得るためには、

- ・毎日、ご使用前にバッテリーを満充電にしてください
- ・積載重量を守ってください。お荷物は少なめにしましょう。
- ・等速のスピードで運転してください。
- ・連続での走行・停止を避けてください。

■坂道の操作

- ・急ブレーキは転倒などのおそれがありますのでご注意ください。
- ・上り坂に差し掛かる場合は一旦車両を停車し、慎重に加速し走行してください。
- ・下り坂では安全のために車両のスピードを低い速度に設定し、急ハンドルをきらないように運転してください。もし下るスピードがはやすぎる場合はアクセルレバーを離して車両を止めます。速度をさらに低く設定し、安全に走行できることを確認して下さい。

⚠ 警告

- ・上り坂または下り坂のとき車両をフリーモードにした状態でそばに立つことは危険です。
- ・上り坂では急ハンドルをきらないでください。転倒のおそれがあります。特に曲がり角では注意してください。
- ・できるだけ下り坂や上り坂などを運転しないでください。必要な場合にだけ走行するようにしてください。
- ・危険な場所を運転しないでください。(雪、氷、草むら、などの場所はスリップの危険があります。)
- ・車両が下図以下の勾配なら走行性能を有していますが、いかなる場合も取扱説明書に記載にされた勾配を超えないでください。超えてしまった場合転倒のおそれがあります。
- ・道路に表記された勾配は常に一定の勾配ではないこともありますので常に注意が必要です。表記のない勾配では特に注意が必要です。下図に車両の登坂能力を表記しています。



車の速度やお客様の体重、勾配、車両の設定などによって変化がありますのでご注意ください。

⚠ 警告

- ・最大登坂能力より急な勾配を運転したら、車両が不安定になり転倒のおそれがあります。
- ・15キロを超え荷物を搭載しないでください。前方のカゴの総重量は15キロを超えないようにしてください。

補足

坂道にさしかかるときは前かがみに乗車したほうがより安定した走行ができます。

■座席の調節

●座席回転の調節

- ・座席の回転レバーは台座の右にあり細かく調整できます。
- ・座席回転レバーを押して座席をフリーにします。
- ・座席を回転して必要な位置にしてください。レバーを戻して座席を固定します。

●座席の高さ調節

- ・車両は座席の高さ調節ができます。
- ・車両から座席とバッテリーを取り外してください。
- ・台座の固定ボルトを緩めて取り外してください。
- ・座席の高さを調節します。
- ・上の座柱を固定して座柱と台座の調節穴を確認します。
- ・固定ボルトをしっかりと締め固定してください。
- ・バッテリーと座席を取り付けます。



●ひじ掛けの広さの調節

- ひじ掛けの広さは狭くしたり広くすることができます。
- ・シート下の固定ボルトを反時計方向に回し緩めて取り外してください。
- ・ひじ掛けを必要な広さに調整してください。
- ・座席とひじ掛けの調節穴を確認して改めて位置が合うようにしてください。
- ・固定ボルトをしっかりと締め固定して下さい。

■ハンドルの角度調節

ハンドルの角度が調整できます。

- ・ハンドルを持って、固定用ボルトを反時計方向に回し間接部をフリーにします。
- ・ハンドルを動かして快適な角度に調整してください。固定用ボルトを時計方向に回してハンドルを固定します。



⚠ 警告

ハンドルまたは座席を調整するときは鍵を抜いてから行って下さい。運転中は調整しないようにご注意ください。

■カゴ

- ・カゴは外す事ができます。
ハンドル方向に引き上げて、外します。
- ・貴重品などは盗難に遭う恐れがありますので入れないようにして下さい。

■充電の手順

安全に充電するためには下記手順で充電を行ってください。

- ・製品に添付されている、この電動カート専用の充電器を用意してください。

●車にバッテリーを搭載した状態で充電をする場合の手順

- ・スイッチから鍵を取り外してください。
- ・クラッチレバーは駆動モード位置にあることを確認してください。
- ・充電器の出力コネクタをバッテリーの充電口に挿入します。
- ・充電器の電源コードを家庭用AC100Vのコンセントに差込みます。
 - ・充電状況は、充電器のLEDで表します。緑が点灯すれば完了です。
 - ・車両に充電器制限機能があります。充電中は車両の走行は出来ません。
 - ・充電ゲージは機能しません。
- ・充電は8時間～14時間で満充電になります。
- ・完了しましたら充電器の電源コードをコンセントから抜きます。次に、充電口から出力コネクタを抜いてください。

補足

- ・車両からバッテリーをはずした状態で充電をすることも出来ます。
- ・連続充電時間は24時間を超えないようにしてください。バッテリーの寿命に影響します。

警告

- ・延長ケーブルを使用しないでください。充電器のプラグは直接コンセントに挿入してください。
- ・充電は子供が近づかないようにしてください。
- ・充電中は発生したガスに引火し爆発することがあります。火気を近づけず通気の良い場所で充電してください。
- ・必ず専用充電器で充電してください。自動車等の充電器を使用しないでください。
- ・使用前に、バッテリー充電器の線と出力コネクタを検査してください、もし何か損傷があったらそのまま充電しないでください。
- ・バッテリー充電器を分解しないでください。
- ・この充電器はアウトドア使用承認を受けていません。野外での使用は控えてください。

■充電に関するよくある質問

Q1 充電器はどのように機能しますか？

車両のバッテリー電圧が低いときは充電機能が低下し大きい電流を流して充電しなければなりません。バッテリーが満充電に近づくと小さな電流を流します。満充電の場合、充電器から流す電流はゼロアンペアに近づきます。よって長時間充電しないことがバッテリーの寿命を長くします。連続充電時間が24時間を超えないようにしてください。

Q2 バッテリーが充電できません。

バッテリーのヒューズは正常か確認してください。充電器の出力コネクタは確実に挿入されているか確認して下さい。

補足

■充電時間について

- ・毎日車両を使用したら使用後すぐに充電してください。そうすれば翌朝使用準備ができています。充電時間は8～14時間をお勧めします。
- ・使用回数が少ない場合でも週に一回は充電してください。その場合の充電時間は毎回12～14時間ほどです。
- ・充電は毎回満充電にしてください。バッテリー残量がゼロになるような放電状態は避けてください。
- ・バッテリーは完全に充電すれば信頼できる性能と寿命を維持できます。常にバッテリーを満充電することを心がけてください。
- ・車両とバッテリーは高温や低温を避けてください。満充電をしなかったり極端な放電状態にしたり高温・低温にさらすとバッテリーの寿命が著しく短くなることがあります。

■バッテリーについて

- ・新品のバッテリーは電力が落ちています。
- ・車両のバッテリーは自動車用やニッケルカドミウム電池などの他によくあるタイプのバッテリーと違います。このバッテリーは効率よく電力を供給し効率よく充電できるよう開発されています。したがって従来より充電時間が短縮されています。(8～14時間で満充電になります。)
- ・新品のバッテリーは満充電にして出荷していますが、温度などの影響で輸送中などに放電してしまうことがあります。高温にさらされると電力を消費し低温では消費しにくい状態になります。
- ・車両のバッテリー温度に対して、新しい環境で安定するには数日程度かかることがあります。重要なのは放電と充電を繰り返しバッテリー内の化学変化を安定させることです。これがバッテリーの寿命を長くするポイントです。

車両は最小限のメンテナンスが必要です。下記の内容で定期的に点検とメンテナンスを行ってください。

■タイヤの点検

・定期的にタイヤの外表面に、傷や損傷、磨耗がないか確認して下さい。

⚠ 警告

座席とタイヤの表面にゴムやエチレン保護剤を使用しないでください。滑りやすくなり危険です。

■バッテリーとの接合部分の点検

バッテリーとの接合部に腐食などが無いかよく確認してください。

車両本体にバッテリーを接合する部分



バッテリーの充電口



バッテリーの裏側で本体に接合する部分



■清掃

- ・車両のプラスチックと金属部品の汚れは、濡れた布や柔らかい布で軽くふき取って下さい。
- ・ボンネットカバーは、少量のワックスを使用して光沢を維持することが出来ます。

⚠ 注意

- ・車両に傷が付く物や研磨剤などは使用しないでください。
- ・水を直接本体にかけることは、故障の原因となります、絶対にしないでください。

車両は四つのパーツに分解することができます。

①バッテリーの取り外し

バッテリー上部のハンドルグリップを持って車両から取り外します。

②カゴの取り外し

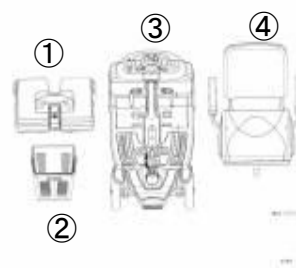
カゴをハンドル方向へ引き上げ取り外します。

③本体

ハンドル固定用ボルトを緩め、ハンドルを倒します。倒した状態でハンドル固定用ボルトを締めます。

④座席の取り外し

座席は上方に垂直に引き上げてください。もし座席を取り外す際抵抗を感じたら座席回転用レバーを引いて座席を回転して取り外してください。



重量物がありますのでその際は無理をせず2人以上で持つようにしてください。

警告

20Kg以上の部品は2人以上で持つようにして下さい。



主な重量部品

電池を含めないの総重量	41.2Kg
取り外した一番重いもの (前の部分)	29.2Kg
バッテリー	14.6Kg

もし長い時間、車両を使用しない場合は以下の点に注意してください。

- ・保管する前にバッテリーを満充電にします。
- ・車からバッテリーを取り外します。
- ・車は適度な温度の乾燥した場所で保存してください。
- ・極端な温度のところを避けてください。
- ・バッテリーは放電してしまうと寿命が短くなる場合があります。車両を長期間使用しない場合は性能を維持するために定期的に充電して下さい。

補足

もし車両を輸送する場合は輸送中の温度管理などを輸送会社に問い合わせ、高温にさらされないようにして下さい。

⚠ 注意

車両を水気のあるところや湿った場所に置くことは避けて下さい。

機械が故障と思われるときは、まずご自身で下記を参考に点検・修理を行ってください。

●車両のすべての機能が停止したらどうしたらいいでしょうか？

- ・バッテリーの充電が十分か確認してください。
 - ・バッテリーがきちんと取り付けられているか確認してください。
 - ・ヒューズが切れていないか確認して下さい。
 - ・オートオフ機能が働いていないか確認してください。
- 一鍵を抜き挿しなおして下さい。時計方向にまわし、バッテリーのリセットボタンを押して下さい。

●ヒューズを点検します

- ・ヒューズを引き出して下さい。
 - ・ヒューズが切れてないかどうかを点検してください。
- 切れている場合は新しい定格容量のヒューズに交換してください。



警告

ヒューズを交換の際は以前と同じ容量のヒューズをご使用下さい。違う容量のヒューズを使用すると電気システムを壊す恐れがあります。

●電池が充電できなくなったらどうすればいいですか？

- ・バッテリーのヒューズを点検してください。必要なら交換してください。
- ・充電中に充電器のLED灯が完全に満充電したことを一回も表示しない場合はバッテリーのヒューズを点検してください。必要があれば交換してください。
- ・頻繁にバッテリーのヒューズが切れる場合は販売店に連絡してください。

●アクセルレバーを動かして車両が動かない場合どうすればいいですか？

- ・クラッチレバーを前に押した時、全ての電源が切断され動きません。
- クラッチレバーを引き戻し、改めて操作をしてください。
- バッテリーは満充電にします。
- ・オートオフ機能が働いていないか確認してください。
- ・電源ランプが点滅している場合は、原因を取り除いて下さい。
- 一鍵を抜き挿しなおして下さい。時計方向にまわし、バッテリーのリセットボタンを押して下さい。
- ・バッテリー充電用のコネクタケーブルが挿入されていると動きません。

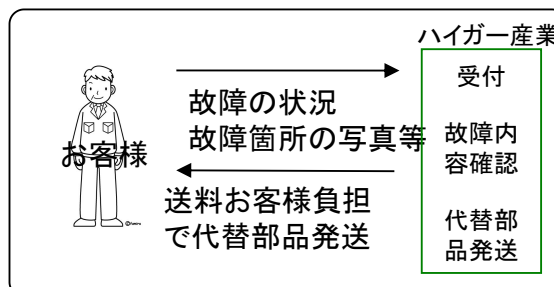
タイプ	DWAC-01
勾配目安	8度以下
障害物を超える能力	1図をご覧ください
色	赤 青 銀
長さ	112cm
幅	54cm
電池を含めないの総重量	41.2Kg
取り外した一番重いもの (前の部分)	29.2Kg
曲がりの半径	125cm
満充電時の走行距離	約28Km
地上高	8.2cm(車両中央値)
積載重量	124.74Kg
標準の座席	タイプ:折りたたみ
駆動システム	後輪駆動 密封式駆動軸 254V、200ワット
ブレーキシステム	電子 再生 機電
タイヤ	前輪:5.5*18.7センチメートル 後輪:7.4*23.3センチメートル
電池のシーリング	12V(2個使用) 直列24V 20アンペア(標準)
バッテリーの重量	20アンペア 14.6キログラム
電池充電器	外接の充電器

1. ご利用環境により±10%の誤差が生じます。
2. 製造工程において±3%の公差が生じます。

まず、「故障と思ったら」を参考に、ご自身で点検してください。

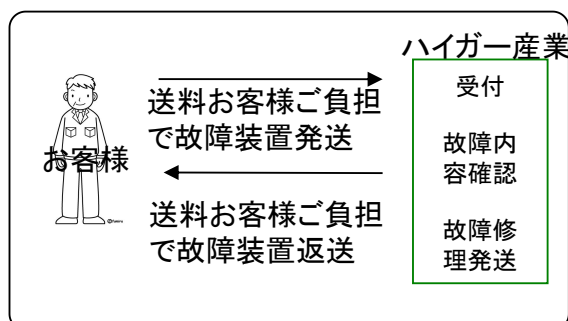
●故障部品をお客様で交換される場合

保証期間内は消耗品を除き壊れた部品は当社で保証します。
送料は全てお客様のご負担となります。



●故障品をメーカーで修理する場合

保証期間内の本体修理も無料で承ります。
その際に生じる往復の送料はお客様のご負担となります。



修理を依頼される時は
下記の事項をご連絡ください。

- ① 故障の状況
- ② 型式
- ③ 製造番号
- ④ ご購入年月日
- ⑤ お名前、ご住所、電話番号

お問合せ先

本社 ハイガー産業株式会社

〒370-0503

群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3

TEL0276-55-2275 FAX0276-55-2276



